



2021年3月期 第1四半期決算短信[IFRS](連結)

2020年8月5日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
 コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO 兼 常務執行役員 (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 2020年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	120,561	13.9	17,452	102.3	17,979	93.5	12,095	108.5
2020年3月期第1四半期	105,894	2.4	8,627	△32.8	9,292	△31.0	5,800	△29.9

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2021年3月期第1四半期	116.11		115.47	
2020年3月期第1四半期	55.69		55.39	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	586,069	369,980	343,879	58.7
2020年3月期	576,621	354,063	327,994	56.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
2020年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		55.00	—	55.00	110.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	486,000	3.7	43,500	5.4	30,500	4.0	292.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	105,700,000 株	2020年3月期	105,700,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,529,118 株	2020年3月期	1,529,320 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	104,170,747 株	2020年3月期1Q	104,156,611 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(報告企業)	10
(作成の基礎)	10
(重要な会計方針)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比13.9%増の1,205億61百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比102.3%増の174億52百万円、税引前四半期利益は前年同期比93.5%増の179億79百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比108.5%増の120億95百万円となりました。

当社グループは2017年3月期からの5カ年を対象とする「中期経営計画2020」に基づき、「本業で稼ぐ力」と「資本市場での価値」の向上を実現すべく、戦略テーマである①グローバルブランディングの促進、②海外重点地域への集中、③国内収益基盤の盤石化、④第2の収益の柱の構築、⑤グローバル経営人材の育成・強化に取り組んでおります。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期比	
	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日	金額	%
売上収益	105,894	120,561	14,666	13.9
営業利益	8,627	17,452	8,825	102.3
税引前四半期利益	9,292	17,979	8,687	93.5
親会社の所有者に帰属 する四半期利益	5,800	12,095	6,294	108.5

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりです。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類が売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。カップめん類では、濃厚な味噌スープが特長の「カップヌードル味噌」の売上が引き続き好調であったことに加え、「あっさりおいしいカップヌードル」シリーズ、「あっさりおだしがおいしいどん兵衛」シリーズが売上に貢献しました。袋めん類では、「チキンラーメン」、「出前一丁」、「お椀で食べる」シリーズ、「日清ラ王」シリーズが売上を伸ばし、売上に寄与しました。カップめん類、袋めん類ともに平時の需要に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた外出自粛による商品需要の増加も売上に貢献しました。利益面では、関西工場稼働に伴う減価償却費の増加、物流費の上昇等がありましたが、増収効果により増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上収益は、前年同期比10.7%増の480億63百万円となり、セグメント利益は、前年同期比87.0%増の87億30百万円となりました。

②明星食品

明星食品の販売状況は、袋めん類で主要ブランドの「明星 チャルメラ」シリーズが伸長し、減塩訴求商品の「明星 評判屋」シリーズも好調を維持したことで、前年同期比で増収となりました。カップめん類も主要ブランドの「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズが堅調で、「明星 旨だし屋」をはじめとするオープン価格商品も好調を維持したことから、前年同期比で増収となりました。

利益面では、販売数量増加による増収効果と新型コロナの影響で広告費、促進費等の投入時期を見直したことによる費用の減少等により、前年同期比で増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上収益は、前年同期比15.1%増の96億59百万円となり、セグメント利益は、前年同期比162.7%増の16億10百万円となりました。

③低温事業

日清食品チルド(糊)の販売状況は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う巣ごもり需要の拡大により主力ブランド「行列のできる店のラーメン」シリーズ、「つけ麺の達人」シリーズ、「日清のラーメン屋さん」シリーズ、「太麺焼そば」シリーズを中心に売上が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

日清食品冷凍(糊)の販売状況は、主力商品である「冷凍 日清もちっと生パスタ」、「冷凍 日清スパ王プレミアム」、「冷凍 日清中華」、「冷凍 日清具多」の各シリーズが引き続き好調に推移し、また、新型コロナウイルス感染症拡大を受けての巣ごもり需要もあり、前年同期比で増収となりました。利益面では、増収効果により前年同期比で増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上収益は、前年同期比15.7%増の157億4百万円となり、セグメント利益は、前年同期比116.6%増の15億66百万円となりました。

④米州地域

米州地域においては、既存商品の収益力の向上に加え、新たな需要の創造に向けた付加価値商品の提案強化に取り組んでおります。

売上につきましては、ブラジルでは主力商品の「Nissin Lamen」が好調に推移したことに加え「CUP NOODLES」も順調に売上を伸ばしました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による需要の増加も売上に貢献しました。米国においても普及価格帯商品の売上が伸長し、高価格帯商品も販売推進により売上が引き続き好調に推移したのに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による商品需要の増加も売上に寄与し、セグメント全体で増収となりました。利益につきましては、高価格帯商品の販売増等の増収効果により増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上収益は、前年同期比17.3%増の177億43百万円となり、セグメント利益は、前年同期比36.8%増の19億10百万円となりました。

⑤中国地域

中国地域においては、中国大陸での高付加価値商品市場が拡大しており、販売エリア拡大と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおります。また、新型コロナウイルス感染症により、自宅での喫食機会が増加し、需要が更に拡大しました。こうした状況の下、売上収益につきましては中国大陸及び香港における『合味道』や『出前一丁』のブランドを中心とした伸びが寄与し、前年同期比で増収となりました。利益につきましては中国大陸及び香港における販売数量の増加及びそれに伴うコスト低減により、前年同期比で増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上収益は、前年同期比19.5%増の115億12百万円となり、セグメント利益は、前年同期比91.6%増の16億7百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内の菓子事業、飲料事業等及び欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上収益は前年同期比13.5%増の178億78百万円となり、セグメント利益は、前年同期比90.8%増の35億26百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ94億47百万円増加し、5,860億69百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に営業債権及びその他の債権が110億57百万円減少した一方、非流動資産のその他の金融資産が161億37百万円、棚卸資産が55億13百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ64億69百万円減少し、2,160億89百万円となりました。これは主に繰延税金負債が16億99百万円増加した一方、その他の流動負債が41億33百万円、営業債務及びその他の債務が25億23百万円減少したことによるものであります。

資本は、前連結会計年度末に比べ159億17百万円増加し、3,699億80百万円となりました。これは主にその他の資本の構成要素が95億45百万円、利益剰余金が63億38百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の56.9%から58.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	60,163	60,588
営業債権及びその他の債権	77,932	66,874
棚卸資産	32,454	37,967
未収法人所得税	2,701	2,905
その他の金融資産	10,273	10,251
その他の流動資産	4,258	5,538
流動資産合計	187,784	184,126
非流動資産		
有形固定資産	240,063	240,611
のれん及び無形資産	3,806	4,444
投資不動産	7,108	7,096
持分法で会計処理されている投資	47,436	43,478
その他の金融資産	77,209	93,347
繰延税金資産	12,844	12,563
その他の非流動資産	368	401
非流動資産合計	388,837	401,943
資産合計	576,621	586,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	104,815	102,292
借入金	6,631	6,666
引当金	337	196
未払法人所得税	6,294	5,312
その他の金融負債	3,418	3,582
その他の流動負債	20,183	16,049
流動負債合計	141,681	134,100
非流動負債		
借入金	41,630	41,157
その他の金融負債	18,350	18,146
退職給付に係る負債	5,828	5,940
引当金	207	226
繰延税金負債	12,393	14,093
その他の非流動負債	2,467	2,423
非流動負債合計	80,877	81,988
負債合計	222,558	216,089
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	50,639	50,640
自己株式	△6,660	△6,659
その他の資本の構成要素	12,275	21,820
利益剰余金	246,616	252,955
親会社の所有者に帰属する持分合計	327,994	343,879
非支配持分	26,068	26,100
資本合計	354,063	369,980
負債及び資本合計	576,621	586,069

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	105,894	120,561
売上原価	68,715	75,318
売上総利益	37,178	45,242
販売費及び一般管理費	30,142	29,620
持分法による投資利益	1,003	1,449
その他の収益	688	568
その他の費用	102	188
営業利益	8,627	17,452
金融収益	1,007	799
金融費用	342	271
税引前四半期利益	9,292	17,979
法人所得税費用	3,132	5,161
四半期利益	6,159	12,818
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5,800	12,095
非支配持分	359	723
四半期利益	6,159	12,818
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	55.69	116.11
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	55.39	115.47

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	6,159	12,818
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	△7,084	14,349
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	35	△12
純損益に振り替えられることのない項目合計	△7,048	14,337
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融資産	2	△19
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△43	10
在外営業活動体の換算差額	△2,573	△855
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	724	△4,325
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,889	△5,189
税引後その他の包括利益	△8,938	9,148
四半期包括利益	△2,778	21,966
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△2,490	21,269
非支配持分	△287	697
四半期包括利益	△2,778	21,966

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2019年4月1日 残高	25,122	50,614	△6,718	2,110	△4,656	3	31,749
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,940	△30	△7,079
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△1,940	△30	△7,079
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	270	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△1	270	—	—	—
2019年6月30日 残高	25,122	50,614	△6,719	2,380	△6,596	△27	24,669

	親会社の所有者に帰属する持分						
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分			利益剰余金	合計	非支配持分	合計
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計					
2019年4月1日 残高	28	29,235	228,526	326,781	25,764	352,545	
四半期利益	—	—	5,800	5,800	359	6,159	
その他の包括利益	760	△8,290	—	△8,290	△647	△8,938	
四半期包括利益合計	760	△8,290	5,800	△2,490	△287	△2,778	
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1	
配当金	—	—	△5,728	△5,728	△613	△6,342	
株式に基づく報酬取引	—	270	—	270	—	270	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	9	9	△9	—	—	—	
その他の増減	—	—	△10	△10	△46	△56	
所有者との取引額合計	9	279	△5,748	△5,470	△660	△6,130	
2019年6月30日 残高	798	21,224	228,578	318,820	24,816	343,637	

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日 残高	25,122	50,639	△6,660	2,292	△12,057	17	19,879
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△816	9	14,318
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△816	9	14,318
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	0	1	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	362	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	8
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	0	0	360	—	—	8
2020年6月30日 残高	25,122	50,640	△6,659	2,653	△12,873	27	34,206

	親会社の所有者に帰属する持分					
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分			その他の資本の構成要素		
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
2020年4月1日 残高	2,143	12,275	246,616	327,994	26,068	354,063
四半期利益	—	—	12,095	12,095	723	12,818
その他の包括利益	△4,337	9,174	—	9,174	△25	9,148
四半期包括利益合計	△4,337	9,174	12,095	21,269	697	21,966
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	△1	—	—	—	—
配当金	—	—	△5,729	△5,729	△649	△6,378
株式に基づく報酬取引	—	362	—	362	—	362
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	1	10	△10	—	—	—
その他の増減	—	—	△16	△16	△16	△32
所有者との取引額合計	1	371	△5,756	△5,384	△665	△6,049
2020年6月30日 残高	△2,192	21,820	252,955	343,879	26,100	369,980

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日清食品ホールディングス株式会社(以下、当社)は日本に所在する株式会社です。当社の登記されている本社及び主要な事業所の住所は、当社のウェブサイト(<https://www.nissin.com/jp/>)で開示しております。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社(以下、当社グループ)、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループの事業内容及び主要な活動は、注記「セグメント情報」に記載しております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨に関する事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」

(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IAS第34号に準拠して作成しております。

なお、本要約四半期連結財務諸表は、2020年8月5日に取締役会によって承認されております。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、単位を百万円としております。また、百万円未満の端数は切捨てて表示しております。

(重要な会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度において適用した会計方針と同一です。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社制を採り、国内7事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業を中心に展開し、「日清食品」「明星食品」「低温事業」「米州地域」「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」「明星食品」「米州地域」「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温事業」はチルド製品及び冷凍製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、(重要な会計方針)における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益										
外部顧客への売上収益	43,414	8,391	13,568	15,128	9,635	90,139	15,754	105,894	-	105,894
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	266	1,591	100	2	211	2,171	7,530	9,702	△9,702	-
計	43,681	9,983	13,668	15,130	9,846	92,311	23,285	115,596	△9,702	105,894
セグメント利益 (営業利益)	4,668	612	723	1,396	839	8,239	1,848	10,087	△1,460	8,627
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,007
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	342
税引前四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9,292
その他の項目										
減価償却費	2,721	463	322	247	478	4,232	1,752	5,985	12	5,998
持分法による投資損益	-	-	-	-	-	-	1,003	1,003	-	1,003
資本的支出	6,155	371	456	406	879	8,269	1,760	10,029	-	10,029

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,460百万円には、セグメント間取引消去等△113百万円、グループ関連費用△1,347百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益										
外部顧客への売上収益	48,063	9,659	15,704	17,743	11,512	102,682	17,878	120,561	-	120,561
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	372	1,088	113	2	305	1,881	7,548	9,429	△9,429	-
計	48,435	10,747	15,817	17,745	11,818	104,564	25,426	129,990	△9,429	120,561
セグメント利益 (営業利益)	8,730	1,610	1,566	1,910	1,607	15,425	3,526	18,951	△1,499	17,452
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	799
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	271
税引前四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17,979
その他の項目										
減価償却費	3,106	459	333	246	497	4,644	1,490	6,134	9	6,144
持分法による投資損益	-	-	-	-	-	-	1,449	1,449	-	1,449
資本的支出	3,280	1,099	199	1,143	618	6,341	1,442	7,784	-	7,784

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,499百万円には、セグメント間取引消去等△37百万円、グループ関連費用△1,461百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。